

【主の祈り】(カトリック/聖公会共通訳)
天におられるわたしたちの父よ、御名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天に行なわれる通り、地にも行われますように。わたしたちの日の糧を今日もお与えください。わたしたちの罪をお赦しください。わたしたちも人を赦します。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。アーメン

【使徒信条】(日本基督教団 口語訳)
わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。わたしはそのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そして、全能の父である神の右に座しておられます。そこ

からこられて、生きている者と死んでいる者をさばられます。わたしは聖霊を信じます。きよい公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠の命を信じます。アーメン

【礼拝賛美】「御名を掲げて」
御名を掲げて あなたをたたえ
救いのために あなたは来られた
救いの道を 与えに
天より降り 来られた
十字架により 命あがない
よみがえられた

- 【礼拝賛美】「雄々しくあれ」
- ①雄々しくあれ強くあれ 少年たちよ
神様はどこにでも 共におられる
我らを倒して 負かす者はない
雄々しくあれ 強くあれ 強くあれ
 - ②雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様の み教えを 守り行い
右にも曲がらず 左にもそれず
ただまっすぐ進むのだ 進むのだ
 - ③雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様の ちかわれた 約束の地は
正しい信仰だ きよい行いだ
ゆけ これらを取るまでは 取るまでは

「ここに集まっているすべての者も、剣や槍がなくても、主が救いをもたらすことを知るだろう。」の戦いは主の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。」

サムエル記第一 17章 47節

私はゲームをするのが趣味で、特にRPGというジャンルの「ドラゴンクエスト」という作品が大好きです。この作品はたくさんのシリーズが出ていて、どのシリーズにも共通しているのが、世界を脅かす「魔王」を倒すために勇者とその仲間たちが旅に出ていくという物語です。

今日お聞きした聖書箇所には、イスラエルにあって魔王のような存在が登場します。それがペリシテ人、ゴリヤテです。ペリシテ人との戦いの際に代表の戦士として現れたのがゴリヤテで、背は3m近くあり、重い鎧や槍を軽々と扱う、見るからに強い戦士でした。その強大な敵を見たとき、サウル王と

イスラエルの人々は恐れ、心がくじかれてしまします。私たちも自分の想像を超えるような強大な敵、困難な状況に陥るときに恐れを抱き、心がくじけてしまう事があるのではないのでしょうか。その敵に立ち向かう勇気もそれが、逃げる事しかできないという事があるかもしれません。

その様な中で立ち上がったのがダビデでした。魔王に立ち向かう勇者のように、強大な敵であるゴリヤテに立ち向かっていきます。なぜダビデはゴリヤテに立ち向かう事ができたのでしょうか？彼は8人兄弟の末っ子で、羊飼いの仕事をしていました。彼が戦場の前線に立つて、戦えるような強さを持つ

ているように思えません。しかしダビデの中には一つの確信がありました。それは「この戦いは主の戦いだ、主が救いをもたらすことができる」という事です。その確信があったからこそダビデは神様に信頼をし、ゴリヤテに立ち向かっていくことができたのです。

私たちも困難な状況に立ち向かう時、自身ではなく救い出してくださいる神様に目を向け、神様に信頼を置きながら立ち向かっていきたいと思えます。自分を見るとちっぽけな存在だと感じるかもしれません。必ずしもゲームに出て来る勇者のような特別な能力を持っていたり、特別な武器を持っているわけではありません。しかし神様は私たちの前に立つて戦ってくださいます。神様が共にいて戦ってくださいるということが、私たちの最大の武器であり防具となるのです。私たちは共にいてくださいる神様に信頼を置きながら人生という旅を神様と共に歩んでいきますよ。(林)

